

From JPMA

製薬産業全体の信頼をさらに高めるために

社会のコンプライアンスへの意識の高まりを受け、製薬産業全体の信頼性をさらに高めるために、情報公開の一環として医療機関に対する一連の企業活動や、患者団体とのかかわり方について透明性ガイドラインを策定しました。さらに、今後の取り組みとして営業部門を対象としたプロモーションコードにかえて、研究開発など企業活動全体を対象としたコードの策定を考えています。

(メディアからの取材を受けて)



日本製薬工業協会
会長 手代木 功

日本製薬工業協会(製薬協)

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者中心の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。